



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月10日

上場会社名 株式会社 クリップコーポレーション
コード番号 4705 URL <https://www.clip-cor.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 井上憲氏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部マネージャー (氏名) 岡田高志

TEL 052-732-5200

四半期報告書提出予定日 2022年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,459	4.3	81	36.3	83	39.2	42	49.8
2022年3月期第2四半期	1,524	5.2	127	231.1	136	266.1	84	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 24百万円 (%) 2022年3月期第2四半期 84百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	11.54	
2022年3月期第2四半期	22.99	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	5,643	5,024	89.0
2022年3月期	5,915	5,214	88.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 5,024百万円 2022年3月期 5,214百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		45.00	45.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,195	0.3	320	4.9	345	8.0	217	0.1	59.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	4,536,000 株	2022年3月期	4,536,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年3月期2Q	859,612 株	2022年3月期	859,612 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	3,676,388 株	2022年3月期2Q	3,676,388 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更等)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の対策が浸透したことなどにより、経済活動の回復に向けた動きが見られましたが、原材料価格の高騰や急激な円安を主因として幅広い分野で値上げが進行しており、先行き不透明な状況で推移しております。

学習塾業界におきましては、少子化の影響で市場の停滞が続くなか、新しい仕組みづくりが求められております。

こうしたなか、当社グループにおきましては、主力である教育事業及びスポーツ事業において、顧客の信頼・信用を得て、サービスを継続・発展させることに尽力しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高14億59百万円(前年同期比65百万円減)となりました。

利益面につきましては、営業利益81百万円(前年同期比46百万円減)、経常利益83百万円(前年同期比53百万円減)、親会社株主に帰属する四半期純利益42百万円(前年同期比42百万円減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(教育事業)

子会社である株式会社蛍雪ゼミナールと有限会社アクスを含む当第2四半期連結累計期間の平均生徒数は5,982名(前年同期比3.6%減)となり、売上高は11億42百万円(前年同期比38百万円減)、セグメント利益は1億5百万円(前年同期比30百万円減)となりました。

(スポーツ事業)

当第2四半期連結累計期間の平均生徒数は4,485名(前年同期比17.7%減)となり、売上高は1億68百万円(前年同期比40百万円減)、セグメント利益は5百万円(前年同期比2百万円減)となりました。

(飲食事業)

添加物・保存料を使用しない弁当の宅配事業を展開しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は89百万円(前年同期比4百万円減)、セグメント損失は20百万円(前年同期はセグメント損失17百万円)となりました。

(その他)

バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を行っており、当第2四半期連結累計期間の売上高は60百万円(前年同期比19百万円増)、セグメント損失は8百万円(前年同期はセグメント利益1百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は37億22百万円(前連結会計年度末比2億96百万円減)となりました。

これは主に、現金及び預金が3億86百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産合計は19億21百万円(前連結会計年度末比23百万円増)となりました。

これは主に、投資その他の資産が17百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は4億67百万円(前連結会計年度末比79百万円減)となりました。

これは主に、未払法人税等が26百万円減少し、流動負債その他が34百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債合計は1億52百万円(前連結会計年度末比2百万円減)となりました。

これは主に、退職給付に係る負債が2百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は50億24百万円(前連結会計年度末比1億90百万円減)となりました。

これは主に、配当金の支払い等により利益剰余金が1億23百万円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前年同期末に比べ2億51百万円減少し、26億55百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は97百万円(前年同期は90百万円の増加)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益が82百万円(前年同期は税金等調整前四半期純利益1億37百万円)であったこと、棚卸資産の増加が53百万円(前年同期は3百万円の増加)であったこと、及び法人税等の支払額が61百万円(前年同期は11百万円)あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は1億14百万円(前年同期は3百万円の減少)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出が1億円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は1億76百万円(前年同期は78百万円の減少)となりました。

これは主に、短期借入金の減少が10百万円(前年同期は70百万円の増加)であったことと、配当金の支払額が1億65百万円(前年同期は1億47百万円)あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期において、主力事業である教育事業の平均生徒数実績が、前期比224名減(3.6%減)、予想比152名減(2.5%減)と予想を下回る水準で推移しております。スポーツ事業の平均生徒数実績も、前期比967名減(17.7%減)、予想比121名減(2.6%減)と予想を下回っております。詳細については、2022年11月8日付で公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

通期の連結業績予想につきましては、前回公表値と同額を予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,794,697	3,408,194
受取手形及び売掛金	12,663	32,813
商品及び製品	126,557	181,503
原材料及び貯蔵品	7,599	6,417
その他	76,954	93,300
流動資産合計	4,018,471	3,722,229
固定資産		
有形固定資産	311,085	312,181
無形固定資産	20,373	26,127
投資その他の資産		
投資有価証券	1,085,596	1,111,998
その他	480,173	470,897
投資その他の資産合計	1,565,769	1,582,895
固定資産合計	1,897,228	1,921,205
資産合計	5,915,700	5,643,434
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,630	25,497
短期借入金	150,000	140,000
未払法人税等	70,898	44,538
賞与引当金	41,563	39,793
その他	251,554	217,312
流動負債合計	546,646	467,142
固定負債		
退職給付に係る負債	108,358	106,271
資産除去債務	16,719	17,428
その他	29,435	28,387
固定負債合計	154,513	152,087
負債合計	701,160	619,229

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	212,700	212,700
資本剰余金	29,700	29,700
利益剰余金	5,759,190	5,636,169
自己株式	△736,402	△736,402
株主資本合計	5,265,187	5,142,166
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△68,621	△137,358
為替換算調整勘定	17,973	19,396
その他の包括利益累計額合計	△50,648	△117,962
純資産合計	5,214,539	5,024,204
負債純資産合計	5,915,700	5,643,434

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	1,524,820	1,459,682
売上原価	1,012,809	992,763
売上総利益	512,010	466,919
販売費及び一般管理費	384,556	385,696
営業利益	127,454	81,222
営業外収益		
受取利息	683	751
受取配当金	4,926	5,614
投資有価証券評価益	5,917	-
受取賃貸料	952	824
その他	1,632	968
営業外収益合計	14,112	8,158
営業外費用		
支払利息	457	962
支払手数料	-	1,816
持分法による投資損失	3,428	482
投資有価証券評価損	-	2,872
その他	703	-
営業外費用合計	4,590	6,134
経常利益	136,976	83,246
特別利益		
事業分離における移転利益	636	-
固定資産売却益	-	41
特別利益合計	636	41
特別損失		
固定資産売却損	42	24
固定資産除却損	555	-
減損損失	-	352
特別損失合計	598	376
税金等調整前四半期純利益	137,014	82,911
法人税等	52,476	40,494
四半期純利益	84,537	42,416
親会社株主に帰属する四半期純利益	84,537	42,416

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	84,537	42,416
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△496	△68,737
為替換算調整勘定	903	1,422
その他の包括利益合計	406	△67,314
四半期包括利益	84,943	△24,897
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	84,943	△24,897
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	137,014	82,911
減価償却費	17,671	16,971
減損損失	-	352
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,670	△1,770
受取利息及び受取配当金	△5,609	△6,365
支払利息	457	962
投資有価証券評価損益 (△は益)	△5,917	2,872
持分法による投資損益 (△は益)	3,428	482
固定資産売却損益 (△は益)	42	△17
移転利益	△636	-
固定資産除却損	555	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△20,381	△20,150
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,556	△53,764
仕入債務の増減額 (△は減少)	9,802	△7,133
前受金の増減額 (△は減少)	△35,858	△21,233
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△177	△23,845
預り保証金の増減額 (△は減少)	△949	110
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,266	△2,087
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	15,058	△13,469
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△10,378	4,338
その他	60	65
小計	96,223	△40,770
利息及び配当金の受取額	5,612	6,365
利息の支払額	△484	△961
法人税等の支払額	△11,271	△61,690
営業活動によるキャッシュ・フロー	90,079	△97,056

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△79,900	△79,900
定期預金の払戻による収入	79,900	79,900
有形固定資産の取得による支出	△10,924	△8,727
有形固定資産の売却による収入	446	70
無形固定資産の取得による支出	-	△6,700
投資有価証券の取得による支出	-	△100,000
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	3,929	792
貸付けによる支出	-	△3,800
貸付金の回収による収入	2,748	3,762
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,800	△114,602
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	70,000	△10,000
配当金の支払額	△147,055	△165,437
その他	△1,728	△1,127
財務活動によるキャッシュ・フロー	△78,783	△176,564
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,003	1,720
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,499	△386,503
現金及び現金同等物の期首残高	2,899,071	3,042,188
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,907,570	2,655,685

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

当第2四半期連結累計期間
(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27—2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	1,181,600	208,720	93,936	1,484,257	40,563	1,524,820	—	1,524,820
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	578	578	△578	—
計	1,181,600	208,720	93,936	1,484,257	41,141	1,525,398	△578	1,524,820
セグメント利益又 は損失(△)	135,554	7,880	△17,947	125,487	1,966	127,454	—	127,454

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	1,142,784	168,146	89,267	1,400,197	59,484	1,459,682	—	1,459,682
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	929	929	△929	—
計	1,142,784	168,146	89,267	1,400,197	60,413	1,460,611	△929	1,459,682
セグメント利益又 は損失(△)	105,242	5,114	△20,607	89,749	△8,526	81,222	—	81,222

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては352千円であります。